

10月 留学活動報告



月のはじめは雨季にはいったのか、毎日午後4時頃になると雨と雷でした。10月になってもまだ停電は続いており、シャワーを浴びる時間が限られてしまったり、授業中に電気が消えることもあり、少し不便です。

初めて学校帰りに友達とストリートフードSalchipapaを食べました。ポテトにソーセージがのってる食べ物で1.25ドルでとても安く美味しかったです。その後友達とバスで家まで帰りました。運賃は17セントでしたが、前にキトでバスに乗ったときは30セントだったので、未だに何が基準で運賃が決まるのかわかりません。



10月3日は「juramento de la bandera de Ecuador」という人生に一度しかないセレモニーに参加しました。これは学校の最終学年の生徒が国歌や校歌を歌い、旗持ちの人達に表彰などをします。この日のために学校初日からマーチングの練習してきましたが、やっぱりうまくできず友達にサポートしてもらい乗りきりました。旗持ちの人と写真を撮ったり、ピザを食べました。クラスメイトに「これ知ってる？」と聞かれ、画面をみたらまさかの枕草子でした。読んでほしいと言われたので読んだら、すごく喜んでくれました。なぜ枕草子なのかはわかりませんでした。私も嬉しかったです。学校が終ると、友達の家へバスで向かい、宿題になっているオリジナルジュースを作りました。パイナップルとココナッツと青い液体を混ぜたもので美味しくなかったですが、楽しかったです。しかし友達同士のスペイン語の会話にうまく入れなかったのが悔しいです。次はもっと話したいです！



10月5.6日は留学生の二回目のオリエンテーション合宿でした。5日の朝は5時に家を出発し、3時間かけてグアランダに行きました。道の途中でエクアドルの有名なチンボラソ山という火山を近くで見ることができました。アルプスのハイジのようなヤギや牛、馬がたくさんいるところも通りました。この地域の人々はみんな伝統服を着ていて、私の地域では見ることはないなので、興味深いです。グアランダはとても寒く、キトよりも治安が良いそうです。今回のオリエンテーションは日本から2人、イタリア、ドイツから1人の計4人で過ごしました。アクティビティは自分の国よりエクアドル

の良いところと悪いところ、ホストファミリーや友達について話しました。私もホストシスターのことで悩んでましたがみんなの話を聞いたところ、私の問題の小ささに気づきました。その後はグアランダの町を探索しました。博物館やカフェに行き、ガイドさんの話を聞きましたが理解ができません。ここの地域オリジナルのビールを飲みましたが、喉が熱くなり、私は好きになれませんでした。イタリアの子は美味しいと言ってました。最終日はTurronという牛乳の飴のようなものとチョコをたくさん買いました。行きでは一言も話さなかった運転手と帰りは日本のことや自分の家族について話せたので楽しかったです。





10月2週目から週に2回の調理実習が始まりました。第1回目はキンボリートとホットドッグを作りました。キンボリートは日本で言う蒸しパンですが、日本の違う点はバナナの葉で包むことです。さすが南米。授業は、先生の言ったことを聞き取ってノートに書く授業で、私にはまだできないので隣の子に見せてもらってます。



10月11日はエクアドルの大都市グアヤキルの独立記念日なので学校が休みでした。この日はホストシスターのいとこの誕生日パーティーに参加しました。みんなで踊りながら椅子取りゲームをして、ピザを食べました。私はHELLO KITTYのシールと折り紙をプレゼントしました。



3週目の英語の授業は実技のテストがありました。テストとは言っても日本とは違い、映画のワンシーンを演じるというものです。私達のグループは「Corpse Bride」を選びました。日本語ですら見たことがありませんでしたが、これを機に理解することができました。他のグループも顔にペイントしたり、ドレスを着たり、ケーキを用意したりとかなり気合が入っていました。



友達の誕生日パーティーに初めて招待されました。いつ来てもいいし、いつ帰ってもいいというラフな感じでした。私は最初から最後までしっかり参加させてもらいました。全部で6個くらいゲームをやって買ったら景品がもらえるので、みんな大盛り上がりでした。そして同じ学校の新しい友達もできました。日本についてたくさん質問してくれるので、いつか来てほしいです。



この日は祖母と一緒に伝統料理を食べに行きました。エクアドルではプレートの場合、肉とじゃがいも肉と米の組み合わせが主流です。かなりジャンキーでお腹にたまりました。そのあと、ロープウェイでキト全体が見れる場所に行きました。チケット売り場に並んだとき、後ろにいた韓国人の女性に英語で話しかける事ができました。自分が留学生であることを伝えると、観光で来ていることを教えてくれたり、日本語を話してくれたり、こんなことできる自分が不思議でしかありませんが、良い時間でした。

